

※ 今週のアウトルック (3/16~3/20)

先週は週初、米国雇用統計の好結果の流れを受けて、ドル高が進みましたが、その後発表される経済指標などの結果があまり良いものではなく、6月利上げ観測の可能性が、一歩後退し、大きくドル高が進むことなく週末を迎えています。

一方、ユーロはECBの量的緩和も開始され、ユーロ売りに拍車がかかっているようです。

今週は、19日早朝のFOMCの状況をまず見極めたいところですが、前半は動きづらく、後半は内容の解釈に大きく左右されそうです。

先週ドル円は、火曜日には一気に122円台を付けましたが、その後は発表された経済指標などが、あまり良いものではなく、再び120円後半から121円台前半のレンジの中に引き戻されています。

今週は、FOMCの内容に左右されそうですが、ユーロやポンドに対してはドル高が徐々に進んでいるため、その流れを引き継ぐことになりそうです。

ドル円の予想レンジは120円から123円です。

先週、ユーロドルは1.05までドル高が進んで週末を迎えています。

FOMCで6月の利上げに否定的な内容が盛り込まれない限り、この流れはしばらく続きそうです。

ユーロ円も徐々に円高が進み、当面のターゲットである120円付近を目指す可能性が、高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは124円から130円です。

ポンド円は、上昇トレンドから完全に下降トレンドに反転してしまったようです。

当面のターゲットは176円割れとなりそうですが、ポンドドルの状況次第では、意外と早くクリアしてしまうかもしれません。

ポンド円の予想レンジは175円から180円です。

今週は、FOMCの内容次第では、もう一段ドル独歩高が進む可能性もありそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

